

【プレス・リリース】

報道関係各位

2012年6月20日
ナクソス・ジャパン株式会社

**ナクソス・ジャパン、「N 響アーカイブシリーズ」を
24bit/192kHz の高音質 WAV ファイルでダウンロード配信開始**

ナクソス・ジャパン株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役:佐々木隆一)は、「N 響アーカイブシリーズ」より厳選した6タイトルの高音質音源ファイル(24bit/192kHz, 24bit/96kHz, WAV/FLAC, 全て DRM フリー)を、2012年6月20日(水)より、音楽配信サイト「e-onkyo music <http://music.e-onkyo.com/>」にてダウンロード販売いたします。

【「N 響アーカイブシリーズ」とは】

「N 響アーカイブシリーズ」は、日本を代表する世界的なオーケストラ、NHK 交響楽団の過去の演奏録音を収録したシリーズです。NHK には、昭和初期から現在に至るまでの NHK 交響楽団の演奏録音のテープが多数保管されており、同社では、株式会社 NHK エンタープライズの協力のもと、それらの中から特に貴重な録音を選定した上で、編集・マスタリングを施し、各種配信を順次開始しております。とりわけ、1954年のカラヤン単独初来日における録音(NYNN-0004)、1960年のN 響初の海外公演(ソ連)における録音(NYNN-0008)は、当時の一流のアーティストによる稀代の名演であることはもちろんのこと、日本のクラシック音楽の受容史においても非常に大きな意義のある音源です。その他、これまでレコードやCDで一度も発売されたことのない、貴重な録音も多数含まれております。

同シリーズは2012年4月25日(水)、同社が運営する「ナクソス・ミュージック・ライブラリー <http://ml.naxos.jp/>」(NML)において第1弾10タイトルのストリーミング配信が開始され、直後より Twitter 等で音楽ファンから大反響を得ております(Togetter まとめ:<http://togetter.com/li/293682>)。

【高音質・非圧縮・DRMフリーによるダウンロード配信】

今回は初のダウンロード配信として、特に反響の大きかった6タイトルを、オンキヨーエンタテインメントテクノロジー株式会社が運営する音楽配信サイト「e-onkyo music」にて販売いたします。

日本音楽史の貴重な資料である放送音源を「24bit/192kHz」で高音質マスタリングし、演奏当時の空気感を余すところなく収めた音楽ファイルを、非圧縮「WAV」形式のまま、お楽しみいただける画期的な試みとなります。もちろん DRM フリーで広い再生環境に適応します。

ラインナップは以降も拡充予定です。2012年7月にNMLで先行配信が予定されている本シリーズ第2弾(*)の内容より、厳選したタイトルを投入してまいります。

(*)N 響海外演奏旅行(ポーランド)/ストラヴィンスキー「春の祭典」抜粋(ローゼンストック)/ベートーヴェン「交響曲第9番」(朝比奈隆)/武満徹「弦楽のためのレクイエム」など、全20タイトル程度を予定。

【販売概要】

販売サイト:[e-onkyo music \(http://music.e-onkyo.com/\)](http://music.e-onkyo.com/)

販売サイト特設ページ:http://music.e-onkyo.com/artist/m120620_R.asp

価格:アルバム 1400 円/シングルトラック 250 円(10分以上の一部トラックを除く)

ファイル仕様:24bit/192kHz および 24bit/96Khz, WAV および FLAC

※販売アルバムは p.3 を参照

【本件に関するお問い合わせ】

ナクソス・ジャパン株式会社 デジタル事業部

Tel: 03-5486-5101 / Fax: 03-5486-5104 / E-mail: info@naxos.jp

〒154-0011 東京都世田谷区上馬 1-32-12 三井生命三軒茶屋ビル 4F

公式サイト:<http://naxos.jp>

ナクソス・ミュージック・ライブラリー:<http://ml.naxos.jp/>

Facebook:<http://www.facebook.com/naxosjapan>

Twitter:<http://twitter.com/naxosjapan>

【配信アルバム一覧】

●NYNN-0003 モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第 3 番/ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 (スターン/NHK 交響楽団/ヴェス) (1953)

ヴァイオリン界の巨人アイザック・スターン(1920~2001)の若き日の初来日の時の記録です。この時わずか 33 歳でしたが、海外からの「来日演奏家」の少なかった当時、大きな話題を呼んだようです。このブラームスの終楽章では、演奏途中で弦が切れて、コンサートマスターの楽器を借りて演奏を継続したと記録されています。

●NYNN-0004 チャイコフスキー: 交響曲第 6 番「悲愴」(NHK 交響楽団/カラヤン) (1954)

カラヤンが N 響を指揮するために単身で初来日した際の録音で、カラヤンが日本のプロ・オーケストラを指揮した唯一の機会の記録です。この時のカラヤンは 46 歳。この演奏の数ヶ月後にフルトヴェングラーが死去し、彼は音楽界の「帝王」に上り詰めます。人生の上昇気流に乗っていたカラヤンの勢いと情熱が反映された大変な力演で、N 響もそれに最大限に応えています。

●NYNN-0005 黛敏郎: 涅槃交響曲(東京コリアーズ/NHK 交響楽団/岩城宏之) (1958)

「題名のない音楽会」の司会者としても知られた作曲家・黛敏郎(1929~1997)の代表作であるとともに、日本が世界に誇る記念碑的傑作「涅槃交響曲」の、初演メンバーによる翌日のスタジオ録音とされるものです。この作品が当時の聴衆に与えた衝撃は大きく、会場で初演を聴いた黛と同年代の作曲家・松村禎三は、「(衝撃のあまり)どうやって家に帰ったか覚えていない」という言葉を遺しています。

●NYNN-0007 ストラヴィンスキー: 交響詩「ナイチンゲールの歌」/組曲「火の鳥」(1945 年版) (ストラヴィンスキー来日公演) (NHK 交響楽団/ストラヴィンスキー) (1959)

大作曲家ストラヴィンスキーが 76 歳の時に来日し、N 響で自作を指揮した際の記録です。遅いテンポで丁寧に運ぶ演奏が特徴的で、ストラヴィンスキーが演奏者として自作をどう解釈したかを確認できる貴重な録音となっています。打楽器セクションは若き日の岩城宏之が担当しています。

●NYNN-0008 (1) N 響海外演奏旅行 - ソ連(1) チャイコフスキー: 交響曲第 5 番 / 間宮芳生: えんぶり(NHK 交響楽団/岩城宏之/外山雄三) (1960)

●NYNN-0008 (2) N 響海外演奏旅行 - ソ連(2) ハイドン: チェロ協奏曲第 2 番 / チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第 1 番(堤剛/松浦豊明/NHK 交響楽団/岩城宏之/外山雄三) (1960)

N 響が日本のオーケストラとしてはじめての海外演奏旅行を行った際に、モスクワのチャイコフスキー記念ホールで開かれた演奏会の録音です。ソ連(当時)での演奏会にチャイコフスキーを乗せたことに当時の関係者の自信が伺えますが、その自信を裏付ける感動的な名演奏を聴くことができます。若き日の堤、松浦両氏の名演奏が聴けるのも大変に貴重です。

●NYNN-0009 ブラームス: 交響曲第 1 番(NHK 交響楽団/シュヒター) (1962)

1959 年に N 響の音楽監督に就任し、厳しい訓練で N 響を一流のオーケストラに育てたとされる、「育ての親」ヴィルヘルム・シュヒター(1911~1974)の演奏です。指揮者、オーケストラ両方にとっての得意のレパートリーだけあって、安定感のある演奏を聴くことができます。